

教育的価値	具 体 の 項 目	教育課程
2【かかわる】	【ボランティア】 他の人や地域社会に役立つことを自分から進んで実践し、他人の喜びを自分の喜びとして共感する。	特別活動

【題材】

「ベルマーク運動と募金活動を通じて、大沢小学校と山田町の復興支援を助けよう。」

【対象】

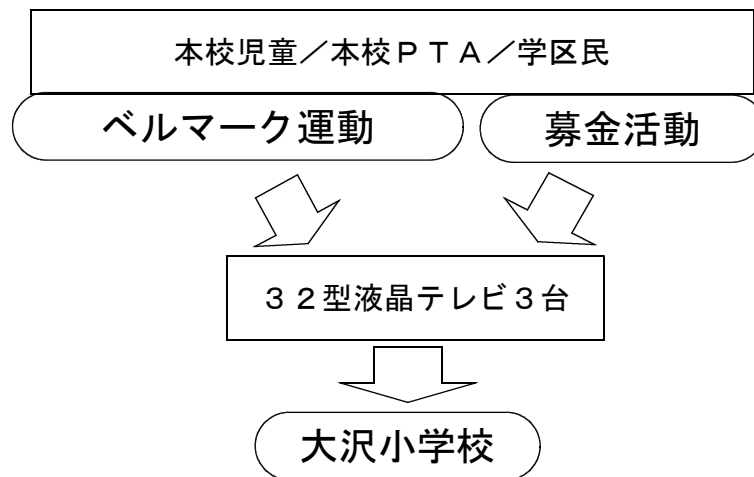
- ・本校児童、本校PTA、学区民の皆さん
- ・大沢小学校の皆さん、山田町の皆さん

【実践の概要・詳細】

1 概要

復興委員会を今年度より立ち上げ、PTAと連携してベルマーク運動に取り組んでいる。また、児童会執行部を中心として、運動会・学習発表会等の多くの保護者が来校する機会に募金活動を行っている。

昨年度は綱引き用の「大綱」を、今年度は32型液晶テレビ3台を寄贈している。



2 3重の復興支援につながるベルマーク運動

- 一：大沢小の復興を手助けする意識を育み、教材備品を贈る活動として（児童：保護者）
- 二：ベルマーク運動そのものが持つ復興支援への間接的参加として

（復興支援参加の意識向上）

- 三：学区民に復興支援の意識を持ってもらう手段として（間接的参加を促す）

3 復興委員会の活動

①ベルマーク運動参加についての啓発活動

- ・PTA会員と学区にある自治会への「復興委員会ニュース」発行

1学期に1回、2学期に2回発行し、ベルマーク運動への協力要請、ベルマーク運動が持つ復興支援の意義についての啓発を行っている。

- ・全校朝会、児童朝会での発表

1学期に2回、2学期に1回発表している。

ベルマーク運動参加の呼びかけ、「テトラパック」等の本年度重点の紹介、ベルマーク運動の意義、集めた点数の途中結果発表を行っている。

- ・校内放送での呼びかけ

委員会児童が原稿を作り、ベルマーク募集の内容と本年



度重点（テトラパックとインクカートリッジ）を知ってもらうために、2ヶ月に1度、昼の校内放送で全校に呼びかけた。

②ベルマーク回収と発送準備の一部

本校児童が持参するベルマーク（テトラパックとインクカートリッジを含む）を校内の回収ボックスから集め、台紙に貼り、発送の準備を行う。

③・ポスター、回収ボックスの作成と設置

ポスターとベルマークの回収ボックスを作成し、学区にあるコンビニ、スーパーマーケット、老人福祉センターに依頼し、設置してもらった。



全校朝会での発表の様子

4 P T Aの役割

P T Aは、児童だけでは難しい、発送準備の点検や発送の業務を担う。

加えて、発送の準備にも参加し、委員会児童への指導も行う。

5 募金活動

今年度は、運動会等の行事の際に、保護者を中心とした大人を対象に児童会が募金活動を行っている。

これにより、直接、保護者及び学区の皆さんに本校が復興支援の活動を行っていることを知らせるとともに、協力を呼びかける良い機会とすることができている。



北厨川老人福祉センターに依頼

6 まとめ

昨年度までは、復興支援の意識が比較的高かったこともあって、ベルマークも募金も定期的に行っていた。それで十分に復興教育の一つとして意義があった。だが、大震災から時を経て、ともすれば薄れがちな復興についての意識を高める継続的な取り組みが必要と考え、復興委員会を中心としたベルマーク運動と児童会執行部による募金に変えた。これによって、本校児童のみならず、学区の皆さんまでを対象に啓発する活動を行うことができるようになった。



委員会活動の様子

校内はもちろん、学区の皆さんからのベルマーク、テトラパックやインクカートリッジの寄付が少しずつ増えてきている。

ベルマーク運動が復興支援につながることを知り、協力したいという思いが徐々に広がりつつあるのではないかと捉えている。

今後は、今年度の取り組みを元に、どのように変えていけばよりよい啓発活動にすることができるのか、委員会と児童会執行部を中心に話し合い、改善を加えていきたい。